



TC-S Series

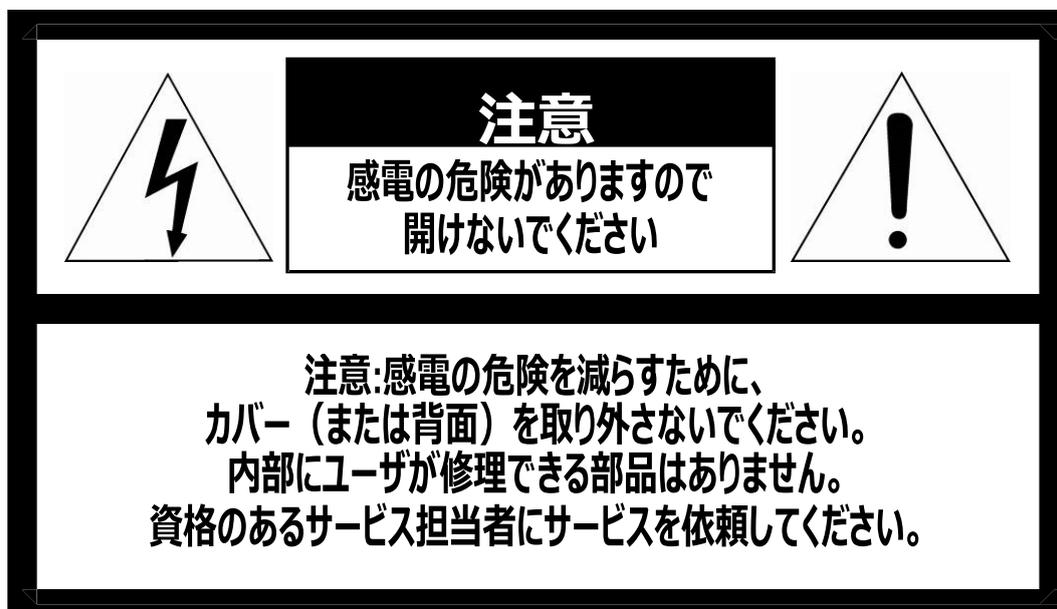
クイックガイド

TC-S1283WHX

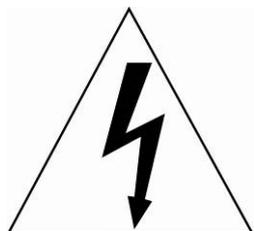
警告

火災や感電の危険性を減らすために、この製品を雨や湿気にさらさないでください。機器の換気グリルやその他の開口部から金属物を挿入しないでください。

注意



図記号の説明



正三角形内の稲妻矢印は、製品の筐体内に、人を感電させるのに十分な大きさの電圧が存在することをユーザに警告するためのものです。



正三角形内の感嘆符は、機器に付属の文書に、重要な操作およびメンテナンス(サービス)に関する説明が存在することをユーザに警告するためのものです。

FCC 適合宣言

この装置は、FCC規則のパート15に適合しています。操作は、次の二つの条件を満たす必要があります。(1) この装置は有害な干渉を起こさないこと、(2) この装置は予想外の動作の原因となる干渉を含めて、どのような干渉も受け入れること。

FCC情報:この機器は、FCC規則のパート15に従って、クラスAのデジタル機器の制限に適合していることがテストによって確認されています。これらの制限は、機器が商用環境で動作するときに、有害な干渉に対して適正に保護されることを目的として設計されたものです。この機器は無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があるため、取扱説明書に従わずにインストールおよび使用した場合は、無線通信に有害な干渉を引き起こすおそれがあります。この機器を住宅地で操作すると、有害な干渉を引き起こすことがあります。その場合、ユーザは、自らの費用でその干渉を是正する必要があります。

注意:コンプライアンス責任者によって明示的に承認されていない変更を加えた場合、機器を操作するユーザの権限が無効になることがあります。

このクラス A のデジタル装置は、カナダの ICES-003 に適合しています。

CE 適合声明

警告

これはクラスAの製品です。国内の環境ではこの製品が無線干渉の原因となる可能性があります。その場合、ユーザは適切な手段を講じる必要があります。

安全上の重要事項

1. 以下の指示をお読みください。
2. 以下の指示を守ってください。
3. すべての警告に注意を払ってください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本機器を水の近くで使用しないでください。
6. クリーニングには乾いた布のみを使用してください。
7. 通風口を塞がないようにしてください。メーカーの取扱説明書に従って設置してください。
8. ラジエータ、ヒートレジスタ、ストーブ、またはその他熱を放出する機器（アンプを含む）等の熱源の近くに設置しないでください。
9. 電源コードは、安全のため、二極性または接地タイプのものを、改造せずに使ってください。二極性プラグには安全のため幅の狭いブレードと広いブレードが付いています。接地タイプには2つのブレードと接地ピンがあります。幅の広いブレードと接地ピンは安全のために用意されています。提供のプラグがコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談して旧式コンセントの取り換えを行ってください。
10. 電源コードを踏んだり、特にプラグ、コンセント、および機器から出てくる箇所では電源コードを挟んだり折り曲げないように設置して下さい。
11. メーカー指定の付属品のみお使いください。
12. 製造元の指定する、または製品と一緒に販売されているカート、スタンド、三脚台、ブラケット、テーブルのみを使用するようにしてください。カートを使用して製品を移動する際には、転倒によって怪我をしないように気をつけてください
13. 雷が発生しているときや長期間使用しない場合は、製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。
14. 保守整備は資格を持つサービス担当者等に依頼してください。本機が損傷した場合、例えば電源コードやプラグが損傷したり、液体をこぼしたり、本機に異物が入ったり、雨水や湿気にさらされたり、正常に作動しなかったりまたは落としたりした場合には、必ずサービスを依頼してください。
15. **注意**—これらの指示事項は、サービスに関する資格を有する方のみが使用するものです。感電の危険性を減らすために、サービス資格を有していない方は、取扱指示事項以外のサービスは絶対に行わないようにしてください。
16. **IEC60950-1/UL60950-1 の 2.5 項または Certified/Listed Class 2 を満たした電源のみを使用してください。**



目次

第1章 始めに	7
1.1 特長	7
第2章 設置と設定	8
2.1 パッケージの内容	8
2.2 カメラの取り付け	9
2.2.1 壁への取付	10
2.2.2 天井への取付	11
2.2.3 設置—メンテナンス用PTZカメラ取り外し	12
2.3 ドームカメラシステムの基本構成	13
2.4 ドームカメラアドレス(ID)の設定	14
2.5 ビデオ信号、Coaxitronプロトコルの設定	14
2.6 接続	15
2.7 はじめ	16
第3章 プログラムと操作	17
3.1 ドームカメラの選択	17
3.2 オンスクリーン・メニューユーティリティへのアクセス	17
3.3 オンスクリーン・メニューユーティリティを制御する方法	17
3.4 オートスキャン(ショートカット: SCAN)	18
3.5 プリセット(ショートカット: PRST)	20
3.6 プリセットプログラムのショートカット	22
3.7 ツアー(ショートカット: TOUR)	22
3.8 パターン(ショートカット: PTRN)	24
3.9 プライバシー・ゾーン	25
3.10 カメラメニュー	26
3.11 ドーム通信	29
3.12 アラーム	30
3.13 ドームのセットアップ	31

付録A 仕様書	38
付録B トラブルシューティング	40

第 1 章 始め

1.1 特長

ドームカメラとキーボードコントローラは、監視/セキュリティシステムのためのビルディングブロックを構築します。複数のキーボードコントローラと複数のドームカメラを使用すると、広い場所でもモニタリングすることができます。広範囲のモニタリングを可能とし、柔軟に拡張できるアーキテクチャ群は、DVR や LAN 経由の遠隔操作など、さまざまなデバイスによるリモート制御機能を容易にします。

- HD-TVI 対応映像センサーの使用により、フル HD(1920x1080)の映像を常時撮影可能。
- True Night Shot 機能付きの組み込み光学パワーズームカメラ
- 個別のカメラ自動露出設定付きの 240 のプリセットポジション
- 8 つのツアーはプリセット、パターン、オートスキャンで構成されており、また他のツアーは 300 以上の機能とプリセットロケーションでプログラムすることができます。各プリセットスキャンは、スムーズな**ベクタースキャン**モードで見ることができます。
- ノーマル、ベクトル及び**ランダム**モード付きの 16 のオートスキャンと、13 のスピードステップを持つエンドレス・オートパン機能、ノーマル、ベクトル及びランダムモード付きの 16 のオートスキャンと、13 のスピードステップを持つエンドレス・オートパン機能
- 8 つのパターン（最大 500 秒）と 16 のプライベート・ゾーン
- 4 つのアラーム入力、2 つのアラーム出力（5VTTL）
- 0.1°/秒から 380°/秒までの可変速度。
3 つの可変速度(SLOW、NORMAL、TURBO)
Ctrl キーを押すと、ターボ速度は 380°/秒になります。
- パン/ティルト速度は、オプションでズーム比に反比例します。
- 最高速度は、プリセットコマンド時に 380°/秒になります。
- 0.1°~6°のオートキャリブレーション（ティルト範囲は-10°~190°）
- プログラム可能なユーザ選択（アラーム、プリセット、タイトルなど）
- 180°デジタルフリップ
- 最大 3999 の選択可能なカメラ・アドレス
- 機能キーなしで DVR を使用する機能実行メニュー（パターン、スキャン...）
- RS-485 レシーバ・ドライバ内臓
- DC12V または AC24V 電源使用の(ターミナルブロック)
- IEC60950-1/UL60950-1 の 2.5 項または Certified/Listed Class 2 を満たした電源のみを使用してください。
- ライナー付きクリアバブルバブルリング(**オプション**)
- 屋外用のハウジング・ブラケット(マウント) などはオプションとして対応

第2章 設置と設定

2.1 パッケージの内容

パッケージには、次が含まれています。

*ドームカメラ1
*取扱説明書(本書)1
*アクセサリキット1
1) トルクスレンチ1
2) 2ピンターミナルブロック1
3) 3ピンターミナルブロック2
4) 4ピンターミナルブロック1
5) 5ピンターミナルブロック1
*設置アダプター1

2.2 カメラの取り付け

設置するには、オプションのウォールマウントブラケットか天井マウントブラケットが 1 つ必要です。

ブラケットとカメラの重量を支える硬い木、コンクリートなどの構造物に取り付ける必要があります。

石膏壁に取り付ける場合は、硬いバックボードの使用をお勧めします。

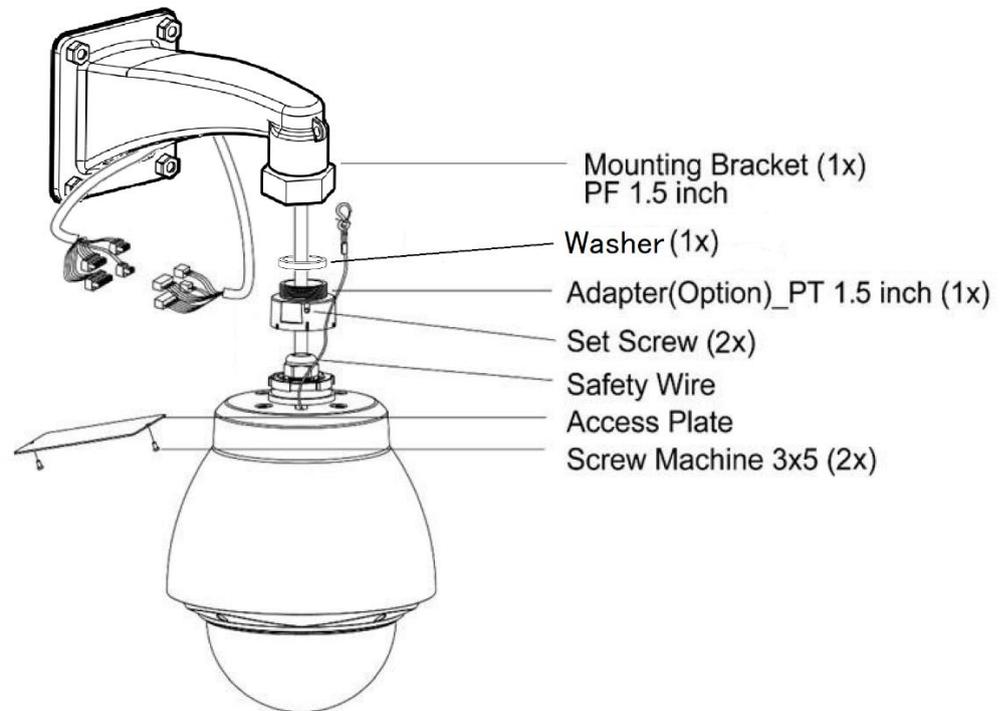
注意 1：防水性を確保するために、ハウジングをシールするためにシリコンゴムシーラントを塗布する必要があります。

注意 2：取り付けるときは、ブラケットを取り付ける必要があります。

注意 3：-10℃以下の状況で設置する場合は、30～60 分後にカメラをリセットしてください。

2.2.1 壁への取り付け

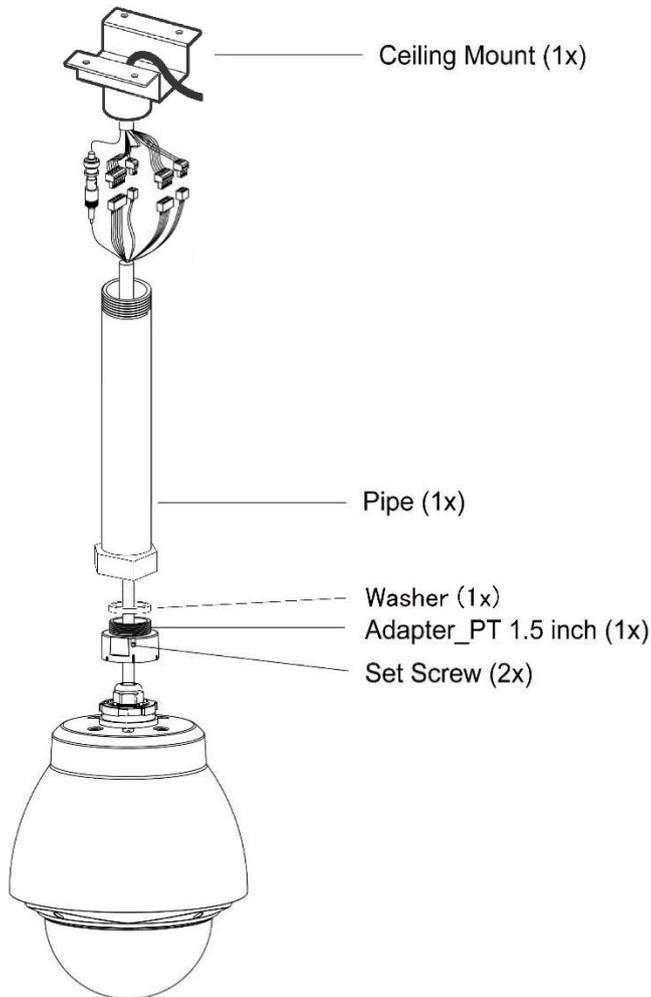
ウォールマウントブラケットは、ブラケットとドームカメラの重量を支えるコンクリートなどの構造物に取り付ける必要があります。



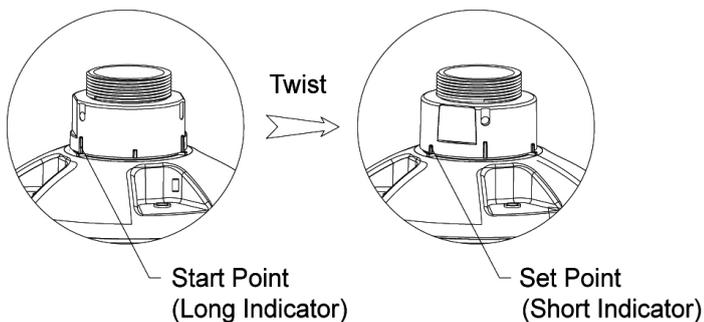
- 1.適切な設置場所を選択して、ウォールマウントブラケットの中央に達するのに十分なケーブルがあることを確認します。
- 2.壁面取り付けガイドパターンを使用して、表面に取り付け穴に印を付けて穴をあけます。
- 3.ドームカメラへの接続に必要なケーブルを壁から引き出します。
- 4.アンカーボルトを使用して、ウォールマウントブラケットを取り付けて固定します。
- 5.アクセスプレートを開き、ウォールマウントブラケットの長方形のアクセス穴からケーブルを引き出します。
- 6.ワッシャー、1.5 インチアダプターをウォールマウントブラケットに取り付けます。
- 7.カメラの安全ワイヤーをウォールマウントブラケットに取り付け、ケーブルを整理します。
- 8.ウォールマウントブラケットのアクセスプレートを閉じます。
- 9.カメラを押し込んで時計回りにアダプターに押し込み、アダプターの止めねじを使用して固定します。

2.2.2 天井への取り付け

天井マウントブラケットは、ブラケットとドームカメラの重量を支えるコンクリートなどの構造物に取り付ける必要があります。

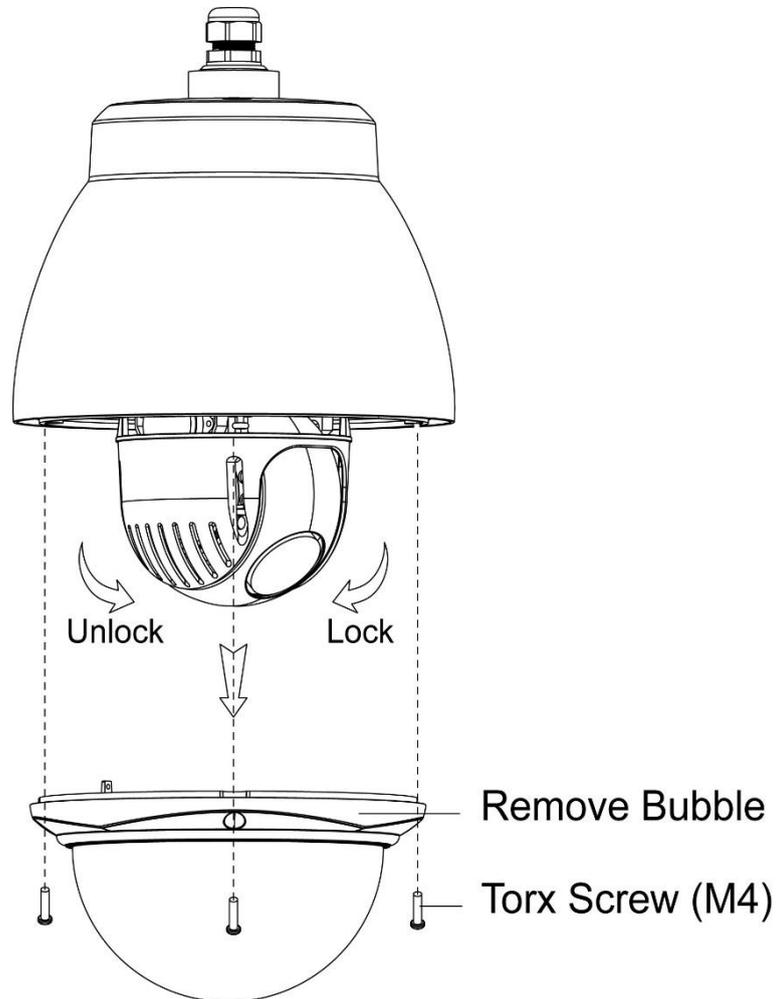


- 1.適切な設置場所を選択し、ハウジングからのケーブルと接続するのに十分なケーブルがあることを確認します。
- 2.ガイドパターンを使用して、表面に取付穴に印を付けて穴を開けます。
- 3.ドームカメラへの接続に必要なケーブルを天井から引き出します。
- 4.アンカーボルトを使用して天井マウントブラケットを取り付けます。
5. ワッシャー、1.5インチアダプターをパイプに取り付け、アダプターの止めねじで固定します。
- 6.カメラケーブルをパイプに通して引き出し、カメラをアダプターに取り付け、アダプターの止めネジを使用して固定します。
- 7.すべてのコネクタを接続してケーブルを整理します。
- 9.天井マウントブラケットの六角ナットをロックして、カメラ付属パイプと天井マウントブラケットを固定します。

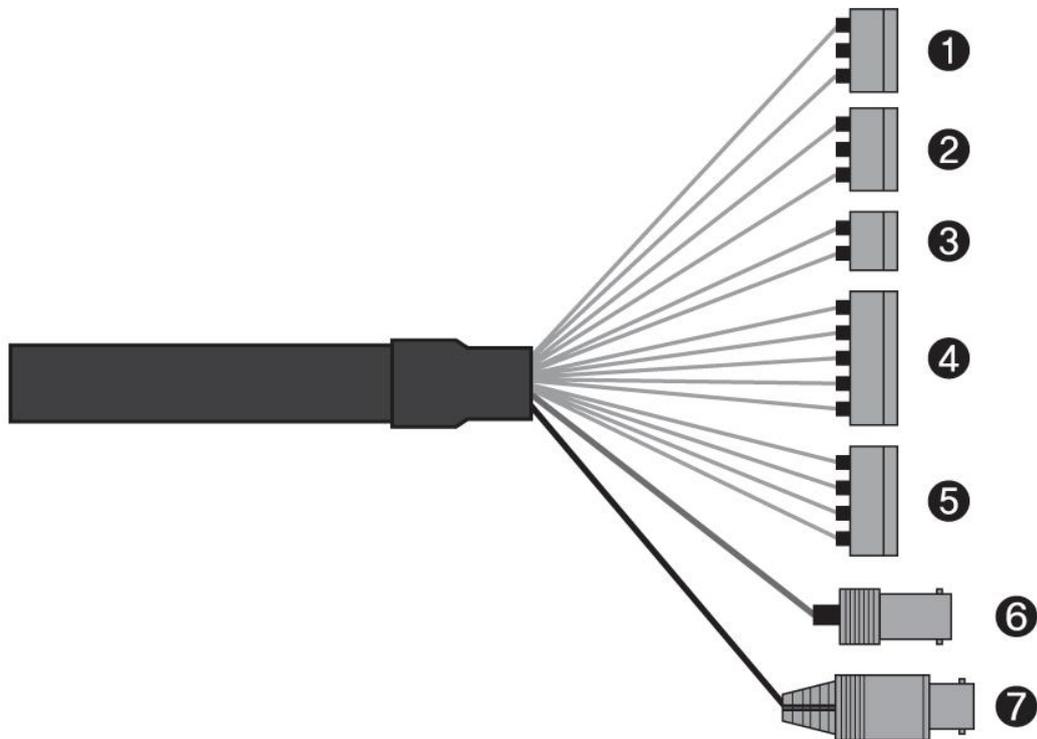


2.2.3 インストール - メンテナンスのために PTZ カメラを取り外す

メンテナンスを実行したり、ハードウェア設定を変更したりするには、最初に下側ドームカバーを取り外し、下図の矢印の方向に回してカメラアセンブリのロックを解除して PTZ カメラを取り外します。

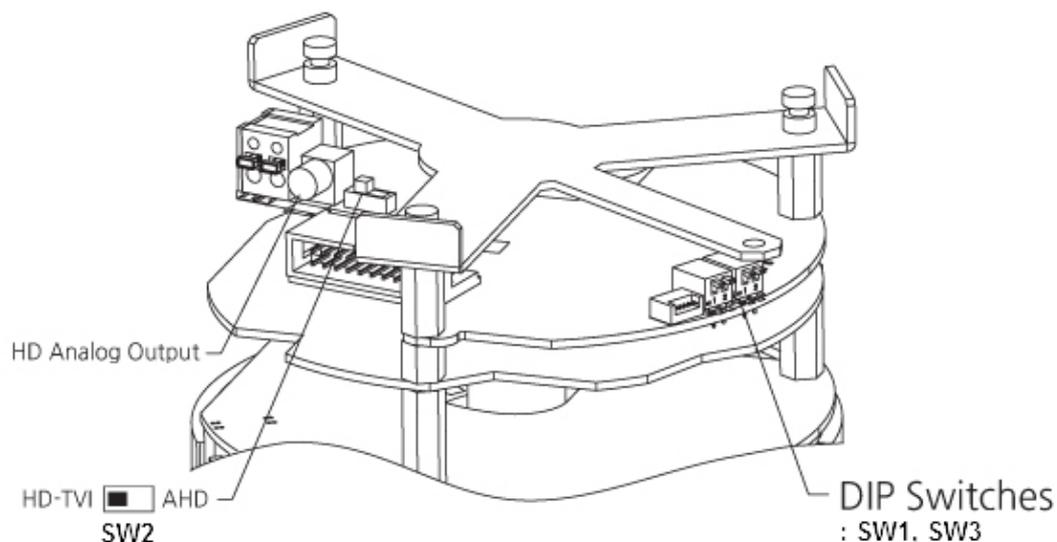


2.3 ドームカメラシステムの基本構成



No.	Connector	Wire Color	Description
1	3-pin terminal block	RED	24VAC or 12VDC+
		WHITE	24VAC or 12VDC-
2	3-pin terminal block	PINK	Heater & Fan
		BROWN	Heater & Fan
3	2-pin terminal block	GREEN	RS-485+
		BLUE	RS-485-
4	5-pin terminal block	GRAY	ALARM INPUT 1
		VIOLET	ALARM INPUT 2
		ORANGE	ALARM INPUT 3
		SKY BLUE	ALARM INPUT 4
		BLACK	GND
5	4-pin terminal block	YELLOW	ALARM OUTPUT 1
		BLACK & WHITE	GND
		SKY BLUE & BLACK	ALARM OUTPUT 2
		ORANGE & BLACK	GND
6	BNC jack	BLUE	HD-TVI/AHD OUTPUT
7	BNC jack	BLACK	CVBS OUTPUT

ドームカメラは、電気および建築基準に従って、資格のあるサービス担当者が設置する必要があります。

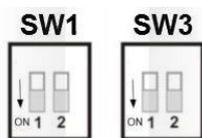


2.4 ドームカメラ・アドレス(ID)の設定

ダメージを防ぐために、各ドームカメラには、それぞれ固有のアドレス(ID 番号)を割り当てる必要があります。カメラ設定メニュー内で変更してください。工場出荷時のデフォルト設定は 1 です。

詳細については、「3.11 ドーム通信」の項を参照してください。

2.3 ドームカメラのビデオタイプ、ターミネーションおよび Coaxitron プロトコルの設定



SW1 の D1 でビデオタイプを、D2 でターミネーションを設定することができます。

SW1-D1	ビデオタイプ
OFF	NTSC
ON	PAL

SW1-D2	ターミネーション
OFF	ターミネート無効
ON	ターミネート有効

SW3 の D1 と D2 で Coaxitron プロトコルを設定することができます。

SW3-D1	SW3-D2	HD-TVI 出力	AHD 出力
OFF	OFF	Hikvision-C	Fastrax-C
ON	OFF	Pelco-C	未設定
OFF	ON	未設定	未設定
ON	ON	未設定	未設定

2.6 接続

• RS-485 への接続

ドームカメラは、RS-485 半二重シリアル通信信号を用いて、コントロール・キーボードのような外部機器や制御システムにより遠隔制御することができます。

• HD-TVI/AHD 出力コネクタの接続

モニターやレコーダーのビデオ入力に HD-TVI/出力(BNC)のコネクタを接続します。

• CVBS 出力コネクタの接続

CVBS 出力(BNC)コネクタをモニターまたはビデオ入力に接続します。

• アラームの接続

- A1, A2, A3, A4(アラーム入力 1, 2, 3, 4)

- 外部デバイスを使用して、イベントに反応するようにドームカメラに信号を送ることができます。機械的または電気的スイッチは、A1、A2、A3、A4（アラーム入力 1、2、3、4）および G（アース）コネクタに配線できます。

- アラーム入力の設定については、第 3 章 - プログラムと操作を参照してください。

- G(アース)

注：G または GND と表示されたすべてのグラウンド線は共通です。

アラーム入力及び/またはアラーム出力のグラウンド側を、G(グラウンド)コネクタに接続します。

- AO1, AO2(5VTTL アラーム出力 1, 2)

ドームカメラは、ブザーやライトなどの外部デバイスをアクティブにすることができます。デバイスを AO1、AO2(アラーム出力 1, 2)と G(グラウンド)コネクタに接続します。

第 3 章 「アラームの出力を設定するためのプログラムと操作」を参照してください。

• 電源の接続

ドームカメラ用の DC12V または AC24V の電源を接続します。

DC12V のアダプターを使用する場合は、正(+)極のケーブルを'DC12V'に、負(-)極のケーブルを'GND'の位置に接続します

IEC60950-1/UL60950-1 の 2.5 項または Certified/Listed Class 2 を満たした電源のみを使用してください。

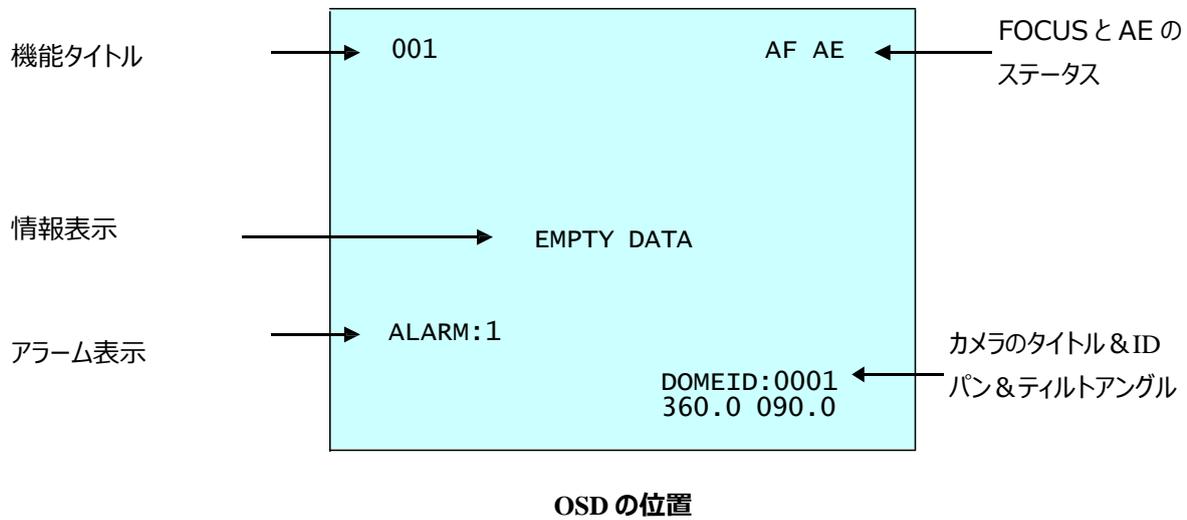
• ヒーターとファンの電源接続

ヒーターとファンのために 24VAC の電源を接続してください。

IEC60950-1 / UL60950-1 または認定/リストクラス 2 電源のみを満たしている。

2.4 始め

取り付けが終了したら、ドームカメラに電源を投入します。ドームカメラは、コンフィギュレーション・シーケンスを開始します。



第3章 プログラムと操作

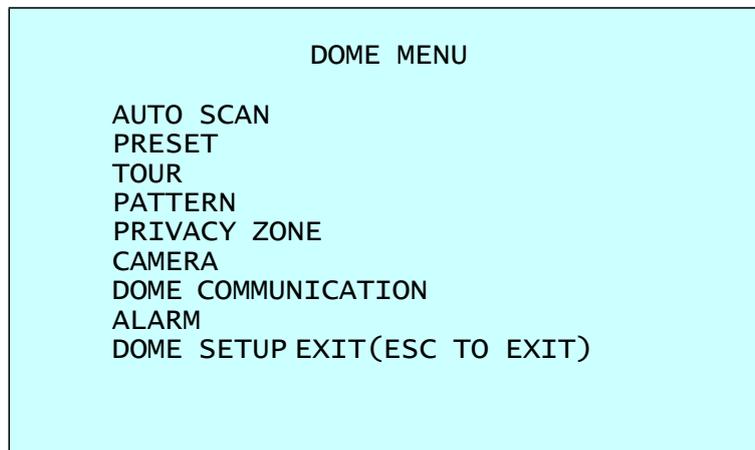
3.1 ドームカメラの選択

ドームカメラをプログラムまたは操作する前に、**No.** + **CAM**キーを押して、ドームカメラを選択する必要があります。

例：**1**, **0** + **CAM** キーを順に押すと、ドームカメラ 10 が選択されます。選択されたドームカメラの ID は、キーボード・コントローラの LCD モニタ上に表示されます。

3.2 オンスクリーン・メニューユーティリティへのアクセス

キーボード・コントローラの**MENU**キーを押して、モニタにオンスクリーン・メニューユーティリティを呼び出すことができます。以下のようなオンスクリーン・メニューユーティリティが表示されます。



3.3 オンスクリーン・メニューユーティリティを制御する方法

機能	ボタン
オンスクリーン・メニューユーティリティを呼び出す。	MENU
メニュー項目をナビゲートする。	Joystick を上または下に
サブメニュー項目に移動する。	Joystick を左または右に、あるいは IRIS Open
値を変更する。 編集タイトルモードを入力する。	Joystick を左か右に、または Zoom ハンドルをひねる、または Tele , Wide
角度の値を変更する。	CTRL + Joystick
角度変更モードに入る。	IRIS Open
角度変更モードを終了する。	IRIS Close
エスケープ(EXIT)する	ESC

3.4 オートスキャン(ショートカット: **SCAN**)

オートスキャンは、ユーザ・プログラマブル・スピードで、最大 17 のプログラムされた角度をサポートします。次の手順に従って、オートスキャンをプログラムします。

```

                AUTO SCAN SETUP

NUMBER          : 01
TITLE           : A01
MODE            : NORMAL
SPEED          : 5 STEP
START ANGLE     : -----
END ANGLE       : -----
SCAN DIR        : CCW
SWAP            : OFF
DWELL           : 03 SEC
FOCUS           : AUTO
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)
    
```

- NUMBER** 01 ~ 08, 10 ~ 17, **09**:AUTO-PANモード。
- TITLE** 6文字まで
- MODE** NORMAL, VECTOR, RANDOM(AUTO-PANモードはNORMAL, RANDOMのみ)。
 - NORMAL パンニングでのみ開始点から終了点まで移動します
 - VECTOR ティルトとズームを含めて、同時にかつ直線的に、開始点から終了点まで移動します。
 - RANDOM 開始点と終了点の間をランダムに移動します
- SPEED** 1~13段階、小さい数値は遅い速度を意味します。
- SCAN DIR** スキャン方向を設定します。CCW(反時計回り)、CW(時計回り)。
- SWAP** 開始点と終了点を入れ替えます。
- DWELL** ドウェルタイム(待機時間)を設定します。01~99秒。
- FOCUS** AUTO, MANUAL

1. **SCAN**キーを押して、直接オートスキャンメニューを入力します。または**MENU**キーを押して、モニタにメインメニューを表示させます。オートスキャンまでスクロールして**Joystick**を右に押します。
2. “NUMBER”選択し、**Joystick**を左または右に押すことによって、所望の番号を設定します。
3. “TITLE”を選択し、**Joystick**をひねってタイトル編集モードに入ります。
4. **Joystick**をひねって英数字を変更し、**Joystick**を左または右に押して次の位置へ移動します。または文字テーブルまで移動し、目的の文字のところ、**CTRL**キー、または**IRIS Open**キーを押すと、カーソルの位置が自動的に次の位置に移動します。すべての文字を削除するには、“ALL DELETE”のフィールドで、左または右に**Joystick**を押します。タイトル編集メニューを終了するには、“EXIT”のフィールドで、左または右に**Joystick**を押します。

```

                TITLE EDIT MENU
                (CTRL KEY)

A01
*

A B C D E F G H I J
K L M N O P Q R S T
U V W X Y Z 0 1 2 3
4 5 6 7 8 9 ( )
ALL DELETE
EXIT(ESC TO EXIT)
    
```

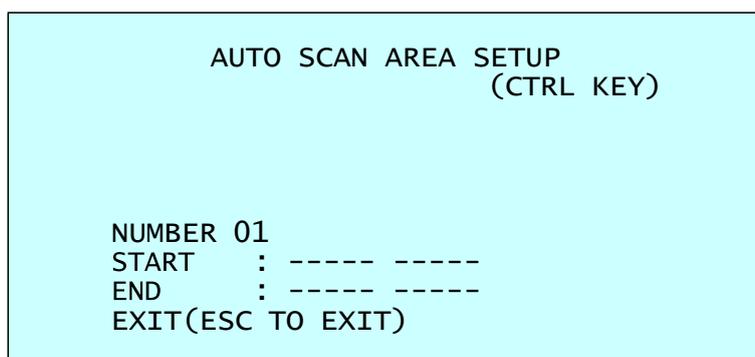
5. “MODE”と“SPEED”を選択します。
- 6.“START ANGLE”を選択します。Joystickを使用して、開始位置を選択する間は、CTRLキーを押したままにします。現在のパンの位置が表示されます。開始位置の選択を完了するには、CTRLキーを離します。またはIRIS Openキーを押すと“CONTROL”が表示されます。所望の位置とズームの位置を移動します。IRIS Closeキーを押すと、“CONTROL”が消えます。0.1°の間隔で調整するには、パンフィールドとティルトフィールドで、Joystickをひねります。
- 7.“END ANGLE”を選択します。終了位置を選択するために Joystickを移動する間は、CTRLキーを押したままにします。終了位置の角度は、開始位置より大きくなければなりません。終了位置の選択を完了するには、CTRLキーを離します。またはIRIS Openキーを押すと“CONTROL”が表示されます。所望の位置とズームの位置を移動します。IRIS Closeキーを押すと、“CONTROL”が消えます。0.1°の間隔で調整するには、パンフィールドとティルトフィールドで、Joystickをひねります。
8. “SCAN DIR”を CCW または CW にします。
9. “SWAP”を選択し、開始角度と終了角度を入れ替えるために ON にします。
10. “DWELL time”を設定します。
11. “FOCUS”を設定します。
12. “SAVE AND EXIT”を選択し、Joystickを右に押すか、または IRIS Openキーを押します。保存せずにプログラムを終了するには、ESCまたはIRIS Closeキーを押します。

注：HOMEキーを押すと、角度フィールドに保存されたデータが削除されます。

プリセットポジションを使用して位置を設定するには：

- a. オートスキャンメニューに入る前に、オートスキャンの開始点としてプリセットポジションを選択します。
例：2 + PRSTキーを押し、ステップ 1～5 を実行します。ステップ 6 では、開始角度位置で CTRLキーを押すと、現在の位置が開始位置として表示されます。
- b. 保存してメニューを終了します。
- c. 通常モードでは、プリセットを呼び出してスキャンの終了点にします。オートスキャンメニューに入るには、3 + PRSTキーを押してから、SCANキーを押します。カーソルの位置を END ANGLE に移動します。終了角度位置で CTRLキーを押します。保存してメニューを終了します。

小さな OSD で表示するには、角度フィールド上の SCANキーを押します。その後、画面には以下のように表示されます。



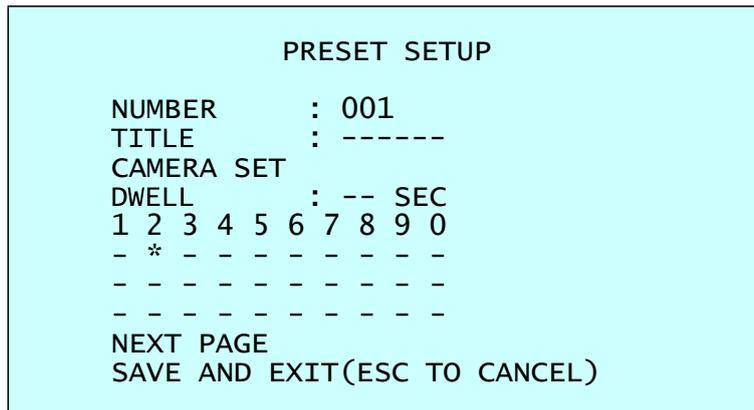
設定手順は上記と同様です。

注：09:AUTO-PAN モード(エンドレスパン)

3.5 プリセット (ショートカット : **PRST**)

定期的に特定の場所を見る必要がある場合は、プリセットによりその場所を登録すると便利です。プリセットはオートパン、ティルト、ズーム、フォーカス、AE の設定でプログラムされた映像シーンです。一度プログラムされると、番号の位置を配置し、コントローラ上の **PRST** キーを押すと、自動的にそのプリセットが呼び出されます。また、プリセットは、ドームカメラの“ホーム”位置として割り当てられることもできます。その位置がドームのファームウェアに保存される 240 ものプリセットを、プログラムすることができます。

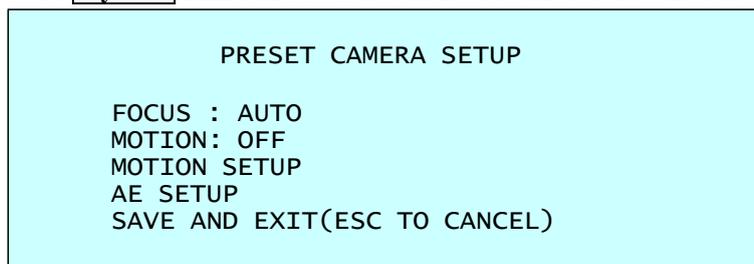
8 ページのプリセットメニューがあります。各ページには 30 のプリセットがあります。最初または最後のプリセット番号で、**Joystick** を左または右に押すと、ページをスクロールできます。



- 空白のプリセットポジション
- * ポジションがプリセットを持っている
- ! 現在のカーソル位置

プリセットポジションを保存するには、以下の手順に従ってください。

1. 直接プリセットメニューに入るには、**PRST** キーを押します。または **MENU** キーを押して、モニタにメインメニューを表示させます。プリセットまでスクロールし、**Joystick** を右に押してください。
2. **Joystick** を上、下、右、または左に押すことによって、保存する空白のプリセットポジションを選択します。
3. 空白のポジションを選択した後、**CTRL** キーを押したままにします。**Joystick** を使用して、カメラとレンズの方向をコントロールします。
4. カメラを向けた後(視点方向とレンズコントロール)、**CTRL** キーを離します。データを保存した後、カーソルが“TITLE”上に来たら、**Joystick** をひねるか、**Tele** または **Wide** キーを押してプリセットタイトルを編集します。上記のオートスキャンの手順に従って、タイトルを編集してください。
5. “CAMERA SET”を選択し、**Joystick** を左または右に押してください。すると、プリセットカメラ設定が表示されます。



- FOCUS** の設定 AUTO, MANUAL, ONE PUSH
- MOTION** の設定 OFF, ON

“MOTION SETUP”を選択し、**Joystick**を左または右に押してください。すると、モーション設定が表示されます。

```
MOTION SETUP

SENSITIVITY : 10
POSITION    : ALL
DELAY       : 00 SEC
OUTPUT      : OFF
HOLD TIME   : 03 SEC
EXIT(ESC TO EXIT)
```

SENSITIVITY (感度)の設定	00~20
POSITION (ポジション)の設定	ALL, CENTER
DELAY (遅延)の設定	00~05 秒
OUTPUT (出力)の設定	OFF, OUT1, OUT2
HOLD TIME (ホールド時間)の設定	03~99 秒

“AE SETUP”を選択し、**Joystick**を左または右に押してください。すると、AE 設定が表示されます。カメラ設定の AE SETUP を参照してください。

6. “DWELL time”を設定します。(03~99 秒)
7. プリセットの次ページを選択するには、メニューの最初または最後の列の上で、**Joystick**を左または右に押すことによって、ページをスクロールします。
8. さらに各プリセットポジションのためには、ステップ 2~7 を繰り返します。
9. “SAVE AND EXIT”を選択し、**Joystick**を右に押すか、または **IRIS Open** キーを押します。保存せずにプログラムを終了するには、**ESC**または **IRIS Close** キーを押します。

注：プログラムされたプリセットビューを削除するには、プログラムされたプリセットポジション(*)で **HOME キーを押します。**

*でマークされたポジションは、すでにプリセットビューが割り当てられています。保存されたプリセットをレビューするには、*の上で、**PRST** キーを押します。カメラは、保存されたプリセットシーンを表示します。

```
PRESET AREA SETUP
                    (CTRL KEY)

NUMBER 001
PAN    TILT
000.0 000.0
EXIT(ESC TO EXIT)
```

Joystickを使用して所望のシーンを選択する間は、**CTRL** キーを押し続けます。現在の位置が表示されます。完了するためには、**CTRL** キーを離します。または **IRIS Open** キーを押すと“CONTROL”が表示されます。所望の位置とズームの位置を移動します。**IRIS Close** キーを押すと、“CONTROL”が消えます。“EXIT”を選択し、**Joystick**を右に押します。

3.6 プリセットプログラムのショートカット

撮影したい映像を画面内に収めた後、No.(1~240)を押し、続いて`CTRL`と`PRST`キーを押します。プリセット番号が空の場合、現在のビューは、選択したプリセット番号に保存されます。選択したプリセット番号が空でない場合は、“OVER WRITE”というメッセージが、モニタ上に表示されます。上書きするには、“OK”を選択し、`Joystick`を右に押します。

例: `1`, `0`, `1` + `CTRL` + `PRST`キーは、現在のビューを、プリセットNo.101として保存します。この場合、フォーカスはAutoとしてプログラムされ、ドウェルタイムは3秒に設定され、また現在のAEモードがプログラムされます。

3.7 ツアー(ショートカット: `TOUR`)

8つのプログラマブルツアーがあります。各ツアーは、最大40のプリセットポジション、パターン、スキャン、または他のツアー(第2レベル)で構成されています。第2レベルのツアーを使用すると、単一のツアーで300以上の機能に拡張することができます。

```

          TOUR SETUP

NUMBER           : 01
TITLE            : T01
SCAN TYPE        : NORMAL
SPEED            : -- STEP
TOUR FUNC
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)
  
```

```

          TOUR FUNC SETUP
                                (CTRL KEY)
DWELL              : -- SEC
003 A04 --- --- ---
--- --- ---
--- --- P01 --- ---
--- T02 --- --- ---
--- --- --- --- ---
--- --- --- --- ---
EXIT(ESC TO EXIT)
  
```

---	空白のポジション
SCAN TYPE	NORMAL, VECTOR
DWELL	03~99 秒
003	プリセット (1~240)
A04	オートスキャン (1~8, 10~17)
P01	パターン (1~8)
T02	ツアー (1~8)

以下の手順に従って、ツアーをプログラムします。

1. `MENU`キーを押して、モニタにメインメニューを表示させます。ツアーメニューに入るには、ツアーまでスクロールし、`Joystick`を右に押します。または、キーボード上の`TOUR`キーを押します。
2. “NUMBER”選択し、`Joystick`を左または右に押すことによって、所望の番号を設定します。
3. `Joystick`を上、下、右、または左に押して、プログラムする空白のポジションを選択します。
4. 保存されたプリセットを追加するには、`Joystick`をひねります。すると、保存されたプリセット番号が表示されます。
5. プリセット以外の機能を配置するには、ツアー、パターン、オートスキャンそれぞれに対応する`TOUR`、`PTRN`、`SCAN`キーを

押します。

6. また、プログラムされた番号を上書きしたり、保存された番号を Tour から削除することもできます。保存された番号の上で **HOME** キーを押すと、空白のポジションマーク (---) が表示されます。
7. 各所望のポジションのためには、ステップ 2~6 を繰り返します。各タイトルが、行の先頭に表示されます。
8. “TITLE”を編集するには、上記のオートスキャンの手順に従ってタイトルを編集してください。
9. “SAVE AND EXIT”を選択し、**Joystick** を右に押すか、または **IRIS Open** キーを押します。保存せずにプログラムを終了するには、**ESC** または **IRIS Close** キーを押します。

プログラムされた他のツアーを呼び出すことにより、ツアーシーケンスを拡張することができます。

注：速度はベクターモードでのみ適用されます。

注：ツアーモードでは、プリセットやオートスキャンと共に、特定の速度で、あるプリセットポジションから別のプリセットポジションへとカメラを移動することができます。

例：プリセット 001> 002> 003> 004> 005> 006、オートスキャン 01 はプリセット 002 で開始し、プリセット 003 で終了、オートスキャン 02 はプリセット 005 で開始し、プリセット 006 で終了。

ツアー 001、002、A01、004、A02。

1 → 2 2~3 → 4 → 5~6, 繰り返し

→ 部分: クイックムーブ、 ~ 部分: プログラムされた速度

ツアーでプリセットのドウェルタイムを変更するには

Joystick を使用して、保存されたプリセットポジションにカーソルを移動します。

PRST キーを押すと、カメラは保存されたプリセットビューに移動し、カーソルはドウェルタイムフィールドに移動します。

ドウェルタイムを変更した後、**PRST** キーを押すとカーソルはプリセット番号に移動します。

機能キーが存在しないときに、ツアーでプリセット以外の機能を割り当てるには

Joystick を使用して、保存されたプリセットポジションにカーソルを移動します。

CTRL キーまたは **IRIS Open** キーを押すと、プリセット番号が、最初のプログラムされた番号を持つ他の機能（オートスキャン、パターン、ツアーまたはプリセット）に変更されます。

番号を変更するには、**Joystick** をひねるか、**Tele** または **Wide** キーを押します。

3.8 パターン(ショートカット: PTRN)

パターン機能は、選択されたドームカメラへのユーザーによる PTZ カメラ操作をそのまま一定時間連続で記録し、その動作を再現します。最大 8 つのパターンが記憶され、その後、**No.** + **PTRN** キーを押すことによって、記録された操作を再生することができます。

PATTERN SETUP (CTRL KEY)			
NO	TITLE	SEC	PERCENT
1	: P01	000	00.0%
2	: P02	000	00.0%
3	: P03	000	00.0%
4	: P04	000	00.0%
5	: P05	000	00.0%
6	: P06	000	00.0%
7	: P07	000	00.0%
8	: P08	000	00.0%
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)			

パターンをプログラムするには、以下の手順に従ってください

1. **MENU** キーを押して、モニタにメインメニューを表示させます。パターンメニューに入るには、パターンにスクロールして、**Joystick** を右に押します。または、キーボード上の **PTRN** キーを押します。
2. **Joystick** を上または下に押すことによって、プログラムする所望のパターンを選択します。SEC や PERCENT の数字が 000 でない場合は、パターンは既に記録されています。パターンは上書きすることができます。
3. カメラの方向を制御する間は、**CTRL** キーを長押しし、**Joystick** でズームします。**CTRL** キーを離すまで、ドームに対する操作は自動的に記録されます。または **IRIS Open** キーを押すと“CONTROL”が表示されます。ポジションとズームポジションを移動します。**IRIS Close** キーを押すと、“CONTROL”が消えます。
4. “TITLE”を編集するには、上記のオートスキャンと同様の手順に従ってタイトルを編集してください。
5. “SAVE AND EXIT”を選択し、**Joystick** を右に押すか、または **IRIS Open** キーを押します。保存せずにプログラムを終了するには、**ESC** または **IRIS Close** キーを押します。

注：パターンを削除するには、プログラムされたポジションで HOME キーを押します。

注：パターンの記録時間が 500 秒に達すると、自動的にしばらく停止します。

小さな OSD で表示するには、タイトルフィールド上で **PTRN** キーを押します。その後、画面には以下のように表示されます。

PATTERN AREA SETUP (CTRL KEY)	
NUMBER 01	
000	00.0%
EXIT(ESC TO EXIT)	

設定手順は上記と同様です。

3.9 プライバシー・ゾーン

カメラの映像内で録画・ライブ表示を行いたくない領域を最大16箇所設定することができます。
4ページのプライバシーゾーンメニューがあります。各ページには4つのプライバシーゾーンがあります。

PRIVACY ZONE SETUP (CTRL KEY)			
NO		METHOD	COLOR
1	ON	BLOCK	BLACK
2	ON	BLOCK	BLACK
3	OFF	-----	BLACK
04	OFF	-----	BLACK

NEXT PAGE
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)

1. フィールドにカーソルを置きます。
2. **Joystick**を使用してポジションを選択している間は、**CTRL**キーを押したままにすると、プライバシーエリアメニューが表示されます。現在の位置が表示されます。ポジションの選択を完了するには、**CTRL**キーを離します。または**IRIS Open**キーを押すと、プライバシーエリアメニューが表示されます。所望のポジションを移動します。**IRIS Close**キーを押すと、“CONTROL”が消えます。
サイズを調整するには、**Joystick**をひねるか、**Tele**または**Wide**キーを押します。
前のメニューに戻ります。

PRIVACY AREA MENU (CTRL KEY)	
NUMBER 01	
354.8 344.8	
EXIT(ESC TO EXIT)	

3. 保存されているゾーンをオンまたはオフにするには、**Joystick**をひねるか、**Tele**または**Wide**キーを押します。
4. “COLOR”を設定します：“黒”、“白”、“黄”、“シアン”、“緑”、“マゼンタ”、“赤”または“青”。
5. “SAVE AND EXIT”を選択し、**Joystick**を右に押すか、または**IRIS Open**キーを押します。保存せずにプログラムを終了するには、**ESC**または**IRIS Close**キーを押します。

注：オフ/オンフィールドで、プログラムされたプライバシーゾーンを削除するには、**HOME**キーを押します。

3.10 カメラメニュー

CAMERA SETUP	
FOCUS CONTROL	
WB CONTROL	
AE CONTROL	
CAMERA CONTROL	
SHARPNESS	: 03
DIGITAL ZOOM	: OFF
IMAGE FLIP	: OFF
PRESET FREEZE	: OFF
RESOLUTION	: 1080P/25
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)	

SHARPNESS	値が高いほど、画像内のより多くのエッジが強化されます。(0 ~ 10)
DIGITAL ZOOM	OFF:ズーム範囲は、光学ズームに制限されます。 2X:ズームは2倍のデジタル範囲まで拡張可能です。 4X:ズームは4倍のデジタル範囲まで拡張可能です。 8X:ズームは8倍のデジタル範囲まで拡張可能です。 MAX:ズームは最大のデジタルズーム範囲に拡張可能です。
IMAGE FLIP	この機能は、カメラからの映像出力を上下・左右両方向に反転させます。 このオプションは、吊り下げではなくレンズ側を上、立てて設置する場合に便利です。
PRESET FREEZE	ON:プリセットを呼び出している間は、イメージがフリーズされます。
RESOLUTION	HD-TVI出力:1080P/30, 1080P/25, 720P/60, 720P/50, 720P/30, 720P/25 AHD 出力:1080P/30, 1080P/25

• FOCUS CONTROL

FOCUS SETUP	
MODE	: AUTO
SENSITIVITY	: MID
FOCUS LIMIT	: 1M
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)	

MODE	AUTO, MANUAL, ONE PUSH, CONST MANUAL(常に手動) 通常の使用では手動モードを使用します。
SENSITIVITY	LOW, LOW.MID, MID, MID.HIGH, HIGH
FOCUS LIMIT	この距離はおおよその値であり、フォーカスは設定値から動作します。

注意:オートフォーカスで24時間の連続使用は避けてください。レンズの寿命が短くなります。

• WB (White Balance) CONTROL

WB SETUP	
MODE	: AUTO
R GAIN	: ---
B GAIN	: ---
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)	

MODE AUTO, MANUAL, INCANDESCENT(白熱灯), FLUORESCENT(蛍光灯), OUTDOOR

AUTO	画面全体からの色の情報を用いて、自動的にホワイトバランス値の出力を計算します。
INCANDESCENT	白熱灯と互換性のあるオートホワイトバランスモード。
FLUORESCENT	蛍光灯と互換性のあるオートホワイトバランスモード。
OUTDOOR	屋外のホワイトバランスモード
MANUAL	マニュアルモードでは、手動で R と B のゲインを変更することができます。
R GAIN	0~255
B GAIN	0~255

R GAIN / B GAIN モードは、手動モードでのみコントロール可能です。

• AE 制御

AE SETUP	
MODE	: AUTO
DSS	: OFF
IRIS	: AUTO
SHUTTER	: AUTO
BRIGHT	: 10
GAIN LIMIT	: 07
NIGHT SHOT	: AUTO
ADDITIONAL AE	
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)	

MODE AUTO, MANUAL, I.PRIO, S.PRIO

AUTO	自動露出モード
MANUAL	可変アイリス、シャッタースピード
I.PRIO	手動アイリス設定（絞り優先モード）、オートシャッタースピード
S.PRIO	手動シャッタースピード設定(シャッター速度優先モード)、オートアイリス
※フリッカレス設定は、S.PRIO モードでシャッタースピードを手動で設定する。	
DSS	OFF, x2 ~ x8
IRIS	F1.8 ~ F32
SHUTTER	1/25 (30) ~ 1/30000
BRIGHT	0~20
GAIN LIMIT	0~7
NIGHT SHOT	AUTO, ON, OFF, GLOBAL

注：()内の値は、NTSC カメラ用です。

NIGHT SHOT オプションによって、カメラの IR カットオフフィルタが取り除かれ、カメラは近赤外線に対して敏感になります。

AUTO 低照度時に、カメラは白黒モードに移行します。
GLOBAL キーボードによって制御されます。

(注：GLOBAL 機能は、F2E プロトコルでのみ動作します)

オペレータは、すべてのドームカメラのナイトショットを同時に有効にすることができます。
 ナイトショットモードが GLOBAL に設定されている場合は、“999” + **ENTER** を入力すると、ナイトショットモードがオフになり、“888” + **ENTER** を入力すると、ナイトショットモードがオンになります。

ON 白黒モード
OFF カラーモード

注：ナイトショット機能における AUTO は、AE 制御の“MANUAL”モードでは適用されません。

追加 AE

ADDITIONAL AE SETUP	
ACE	: OFF
WDR	: OFF
WDR WEIGHT	: --
BLC	: OFF
HLC	: OFF
HLC LEVEL	: --
HLC COLOR	: ---
DEFOG	: OFF
EXIT(ESC TO EXIT)	

ACE OFF, LOW, MID, HIGH
WDR OFF, ON, NIGHT OFF(注:ON のとき、BLC は無効になります)
WEIGHT LOW, MID, HIGH
BLC OFF, ON (注:ON のとき、WDR は無効になります)
HLC OFF, ON
HLC LEVEL 0~20
HLC COLOR 黒、白、黄、シアン、緑、マゼンタ、赤、青
DEFOG OFF, ON

• カメラコントロール

CAMERA CONROL	
D/N LEVEL	: MID
D/N DELAY	: 03 SEC
CHROMA	: 08
GAMMA	: 2
DNR	: MID
DIS	: OFF
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)	

D/N LEVEL LOW, MID, HIGH
D/N DELAY 1~60 秒
CHROMA 0~20
GAMMA 0~4
DNR OFF, LOW, MID, HIGH
DIS OFF, ON

3.11 ドーム通信

ダメージを防ぐために、各ドームカメラに対し固有のアドレス(ID 番号)を割り当てる必要があります。
工場出荷時のデフォルト設定は 1 です。

```
                DOME COMMUNICATION

                *
DOME ID       : 0001
PROTOCOL      : AUTO
BAUDRATE      : 9600
PARITY        : NONE

SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)
```

DOME ID	1~3999
PROTOCOL	AUTO, F2/F2E, PELCO-PD
BAUDRATE	2400, 4800, 9600, 19200, 38400 bps
PARITY	NONE(なし), EVEN(偶数), ODD(奇数)

3.12 アラーム

ALARM SETUP						
						(CTRL KEY)
NO	PRI	FUN	IN	OUT	HLD	LATCH
1	1	001	NO	OUT1	03	OFF
2	1	---	OFF	OFF	03	OFF
3	1	---	OFF	OFF	03	OFF
4	1	---	OFF	OFF	03	OFF
DWELL					:	03 SEC
ALARM OUT SETUP						
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)						

NO(番号)	アラーム入力番号
PRI(優先順位)	若い番号が高い優先順位を持つ(0~4)
FUN(機能)	アラームによって呼び出される保存された機能番号。
IN(入力)	NO/NC:ノーマルオープン/ノーマルクローズ、OFF:無視
OUT(出力)	OUT1~OUT2:5VTTL出力、OFF:出力なし
HLD(ホールド)	アラームは、プログラムされた時間の間、ホールドされます。(03~99秒)
LATCH	ON – アラーム入力が無効になっても、アラームメッセージは画面上に残ります。 OFF – アラーム入力が無効になると、プログラムされたホールド時間後に、アラームメッセージは画面から消えます。
DWELL	これは複数のアラームの間のドウェルタイムを意味します(03~99秒)。

ALARM OUT SETUP	
OUT1	: ALARM
OUT2	: 1 MIN
EXIT(ESC TO EXIT)	

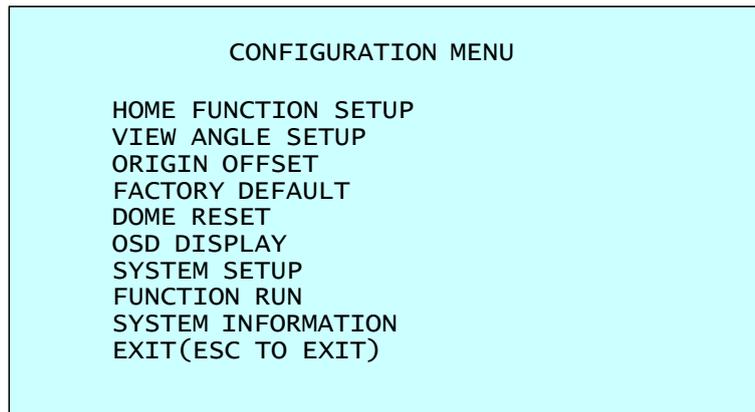
ALARM:ALARM:アラーム出力は、アラーム動作中またはキーボードのショートキーによって動作します。

1~5 MIN(分):アラーム出力は、この設定時間の間、ドームメニューの機能実行またはキーボードのショートキーによってのみ、動作します。

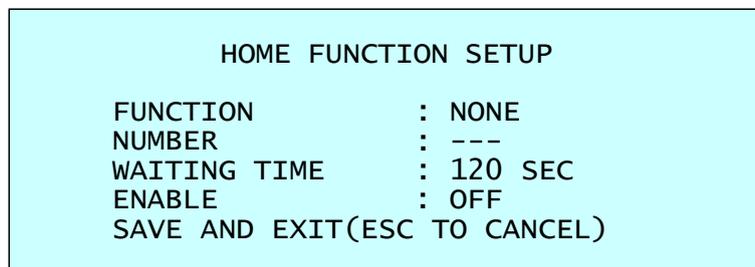
注 :この 1~5 分の設定はアラームによっては動作しません。

5つのレベルの優先順位があります。この機能はプリセット、オートスキャン、パターンまたはツアーによって選択することができ、“0”が最高の優先順位になります。優先順位の高いアラームが完了するまで、優先順位の低いアラームは発生しません。同じ優先順位のアラームがドウェルタイムの間、繰り返し発生します。

3.13 ドームのセットアップ



• ホーム機能設定



FUNCTION	NONE, TOUR, PATTERN, AUTO SCAN, PRESET
NUMBER	---
WAITING TIME	10~240 秒
ENABLE	ON, OFF

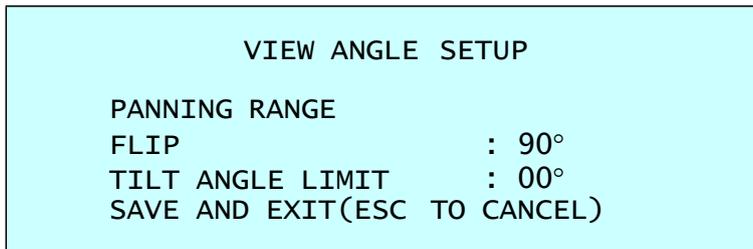
キーボードコントローラが、指定した時間の間アイドル状態になった後、ホーム機能は、カメラが自動的にツアー、パターン、オートスキャンまたはプリセットに移行するように、設定することができます。

例えば、コントローラが 120 秒間アイドル状態の場合、カメラはプリセット 1 に移行します。ホームポジション

をプログラムするには、次の手順に従ってください。

1. **Joystick** を左または右に押して、“**FUNCTION**”を選択した後、なし、ツアー、パターン、オートスキャンまたはプリセットの機能をスクロールします。
2. “**NUMBER**”を選択し、**Joystick** を左または右に押してください。記録された機能番号がスクロールされます。
3. “**WAITING TIME**”を選択し、**Joystick** を左または右に押して、10~240 秒を選択します。
4. “**ENABLE**”を選択し、**Joystick** を左または右に押すことによって、オンまたはオフにします。

• 視野角の設定



FLIP OFF, AUTO, 90□, 100□, 110□, 120□

OFF:ドームカメラは、垂直方向に 90°まで動きます。

AUTO:移動物体のすぐ上のフロアーに到達すると、カメラは停止します。

その時、すぐに **Joystick** を離した後、再び下に引っ張り、オートフリップ機能を実行します。

パンの範囲を使用する場合は、フリップモードを AUTO にして使用することをお勧めします。

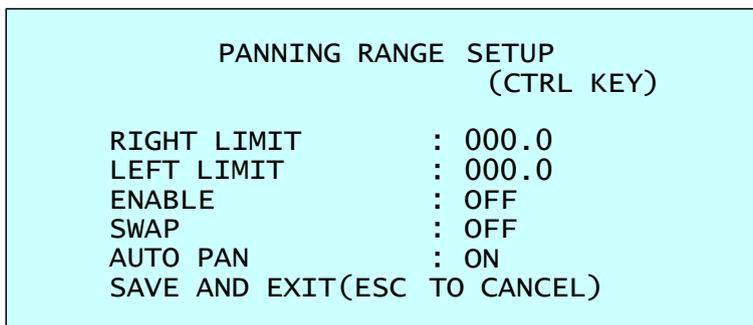
90°, 100°, 110°, 120°:カメラがこの設定角度を超えて垂直に移動すると、画像がデジタル的に反転します。

TILT ANGLE LIMIT -10□□~10□

このオプションは、傾斜角の特定の領域に、ズームアウトする上で何らかの障害物が存在する際に、視野角を制限するために設計されています。

PANNING RANGE

ドームカメラが壁の近くに設置されたときに、ユーザはパンの範囲を制限することができます。



1. ドームカメラを垂直に90度以下になるように配置します。
2. **Joystick** を右に押して、“**RIGHT LIMIT**”を設定します。
3. **Joystick** を左に押して、“**LEFT LIMIT**”を設定します。
4. 使用するには、“**ENABLE**”をONにします。

左右のリミットを入れ替えるには、“**SWAP**”をONにします。

オートパン（エンドレスパン）に制限を加えるには、“**AUTO PAN**”をONにします。

注：フリップモードが90°、100°、110°または120°のときに、垂直方向に90°を超えて移動すると、パンの範囲は反対側で動作します。

• 原点オフセット

```
                OFFSET SETUP
                        (CTRL KEY)

PAN OFFSET       : 000.0
TILT OFFSET      : 000.0
ENABLE           : OFF
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)
```

この機能は、新しいドームカメラを、以前に設置したドームカメラとまったく同じように調整するのに役立ちます。

ドームカメラの原点設定及びすべてのデータ初期化オプションは、オフセット値を上書きしません。このメニューのデフォルト設定オプションのみが、オフセット値をゼロにします。これは、天井障害物を回避するために使用することができます。

• 工場出荷時の設定

データを初期化するには、“**FACTORY DEFAULT**”を選択します。

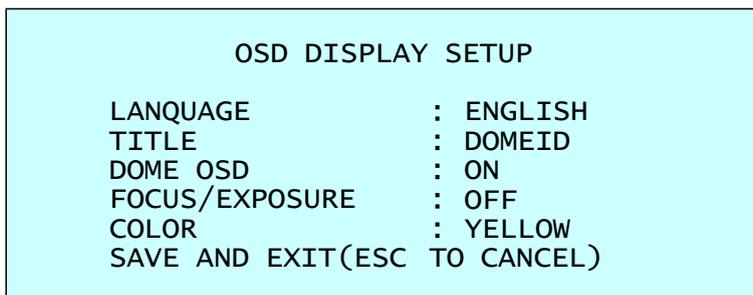
```
                FACTORY DEFAULT
                ARE YOU SURE ?
                CANCEL
                OK
```

• ドームのリセット

```
                DOME RESET
                ARE YOU SURE ?
                CANCEL
                OK
```

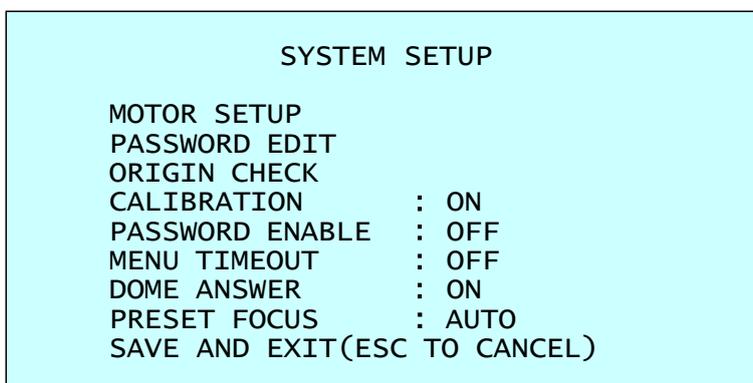
この機能は、選択されたドームカメラの向きを再調整するために使用されます。原点オフセット値は、この機能の影響を受けません。(オフセットは原点の設定後も有効です。)

• OSD の表示



LANGUAGE	希望する言語を選択します。
TITLE	6文字まで
DOME OSD	ON, POSITION, ON(ZOOM), ZOOM, OFF DOME の OSD 表示が OFF になっているときは、すべての表示やタイトルが消えます。
FOCUS/EXPOSURE	ON, OFF ON:フォーカスと露出が表示されます。(AF AE)
COLOR	YELLOW, GRAY, BLUE

• システム設定



CALIBRATION	ON(自動原点チェック), OFF
PASSWORD ENABLE	ON(メニューに入るにはパスワードが必要), OFF
MENU TIMEOUT	ON(5分), OFF(常にメニュー表示)
DOME ANSWER	ON, OFF(ドームから Acknowledge コマンドなし) このオプションは、ある種の DVR を使用する際に、コマンドの衝突を回避するのに役立ちます。
PRESET FOCUS	AUTO, MANUAL, ONE PUSH このオプションは、プリセットを保存するときに、フォーカスのデフォルトモードを設定します。

MOTOR SETUP

モーター設定のメニューでは、カメラのパンとティルトの速度を設定します。ユーザーは、**Joystick**を左または右に押して、所望の速度を設定することができます。動作中に、**153**+**ON**キーを押すと、速度が SLOW モードに変更され、**153**+**OFF**キーを押すと、速度が NORMAL モードに変更されます。

CTRLキーを長押しして、**Joystick**を動かすとターボスピードモードで動作します。

```
MOTOR SETUP

PROPORTIONAL P/T      :  ON
P/T MODE              :  NORMAL
SLOW PAN MAX          :  40
SLOW TILT MAX         :  40
NORMAL PAN MAX        :  90
NORMAL TILT MAX       :  90
TURBO PAN MAX         :  360
TURBO TILT MAX        :  100
SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)
```

PROPOTIONAL P/T	ON, OFF
P/T MODE	SLOW, NORMAL, TURBO
SLOW PAN 最高速度	19° ~ 90°/秒
SLOW TILT 最大速度	19° ~ 90°/秒
NORMAL PAN 最大速度	40° ~ 360°/秒
NORMAL TILT 最大速度	40° ~ 200°/秒
TURBO PAN 最大速度	200° ~ 380°/秒
TURBO TILT 最大速度	90° ~ 300°/秒

パスワードの編集

```
PASSWORD EDIT SETUP
(CTRL KEY)

INPUT PASSWORD
PASSWORD:

A B C D E F G H I J
K L M N O P Q R S T
U V W X Y Z 0 1 2 3
4 5 6 7 8 9 ( )

SAVE AND EXIT(ESC TO CANCEL)
```

このメニューでは、6桁の文字でパスワードを変更することができます。

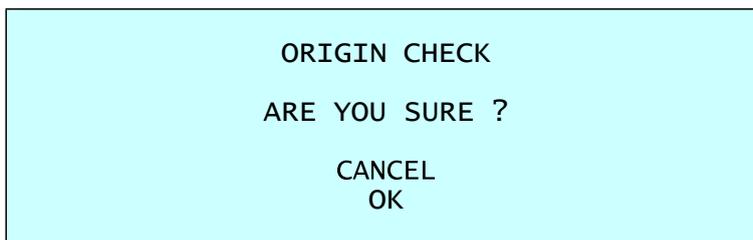
デフォルトのパスワードは**555555**です。

パスワードが有効になっていると、メニューに入る際に、パスワード入力ウィンドウが表示されます。

このとき、**Joystick**で所望の文字にカーソルを移動し、**CTRL**または**IRIS Open**キーを押します。

原点チェック

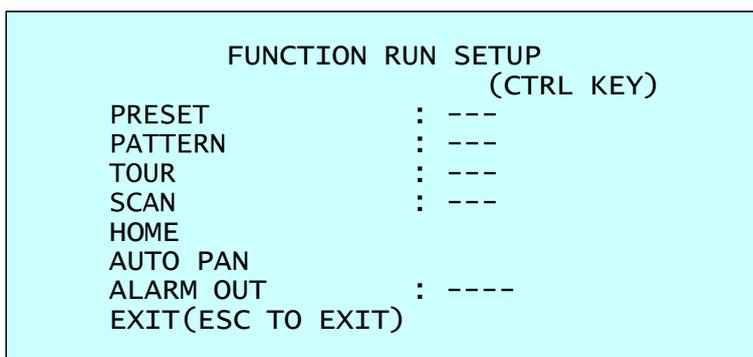
操作中にドームが誤った位置にあることがわかった場合は、この原点チェックを実行すると、原点チェック操作後に、ドームカメラは正しい位置に戻ります。



[I51] + [ON] キーを押すと、原点チェックを実行します。

• 機能の実行

機能キー(プリセット、パターン、ツアーとスキャン)なしで、キーボードや DVR を使用するとき、この機能実行メニューによって、機能を実行できるようになります。



1. [Joystick] を上下に押して、希望する機能を選択します。
2. プリセット、パターン、ツアーとスキャンにおいて、[Joystick] をひねって番号を選択します。
3. 実行するには、[CTRL] または [IRIS Open] キーを押します。

注：機能を実行するには、まず機能(プリセット、パターン、ツアーとスキャン)を保存する必要があります。

- HOME

“HOME”を選択し、[CTRL] または [IRIS Open] キーを押します。ドームカメラは、割り当てられた非アクティブの時間が経過した後、デフォルトポジションに戻ります。デフォルトポジションは、プリセット、ツアー、パターン、またはアクションなしであることもできます。

- AUTO PAN

オートパンを選択することによって、一方向に継続的に回転するエンドレスのオートパンを実行することができます。

- ALARM OUT

この機能は、アラームメニューでアラームアウトの時間が設定されている場合にのみ動作することができます。

例)

```
ALARM OUT SETUP

OUT1      : ALARM
OUT2      : 1 MIN
EXIT(ESC TO EXIT)
```

CTRLまたは**IRIS Open**キーを押すと、設定時間の間のみ、そのアラームアウトが動作します。

• システム情報

```
SYSTEM INFORMATION

CAMERA TYPE      : xxxx-Vx.xx
H/W VERSION      : Vx.xx-xxxx
ROM VERSION      : Vx.xxxxxxx
PROTOCOL         : xxxx
BAUDRATE         : 9600(NONE)

HD B/D VERSION  : Vx.xx

EXIT(ESC TO EXIT)
```

システム情報は、サービスが必要な場合に、ドームカメラに関する重要な情報を提供します。この画面には、カメラの種類とROMのバージョンが表示されます。この画面の情報は変更できません。

付録 A 仕様書

モデル		TC-S1283WHX
画像		
レンズ	光学 30x 4.3mm ~ 129.0mm	
画角 (水平)	65.1° ~ 2.23°	
イメージセンサー	タイプ	1/2.8" SONY STARVIS CMOS センサー
	ピクセル	1945(H)×1097(V)
最低被写体照度	カラー:0.35 Lux @ 50IRE 白黒 :0.013 Lux @ 50IRE	
走査モード	プログレッシブスキャン	
ワイドダイナミックレンジ	True WDR	
Day & Night モード	True Day & Night (Auto, Day, Night)	
ノイズリダクション	3DNR	
デジタルズーム	16X	
露光制御	オート、マニュアル、シャッター速度優先、アイリス(絞り)設定優先	
ホワイトバランス制御	オート、マニュアル、白熱灯、蛍光灯、屋外	
逆光補正	あり	
イメージエフェクト	フリップデジタル方式 上下・左右反転	
シャッター速度	25/30fps :オート (1/30,000 ~ x8 秒)、マニュアル 50/60fps :オート (1/50,000 ~ x8 秒)、マニュアル	
DIS	あり	
曇り除去	あり	
ビデオ		
解像度	HD-TVI:1080p @ 25/30fps, 720p @ 25/30/50/60fps	
ビデオ出力	HD-TVI or AHD、コンポジット	
PTZ 機能		
パンレンジ	360°エンドレス	
パン速度	最大 380°/秒(プリセット)	
ティルト範囲	-10° ~ 190°	
ティルト速度	最大 380°/秒(プリセット)	
オートキャリブレーション	0.1° ~ 6°	
オートスキャン	1 オートパン&16 オートスキャン	
プリセット 登録数	240	
ツアー 登録数	8	
パターン 登録数	8	
ホーム機能	あり	
プライバシー・マスク・ゾーン	16 プログラムブル・ゾーン	
外部入出力		
ビデオ HD-TVI 出力	BNC ジャック	
ビデオコンポジット出力	BNC ジャック	
アラーム	4 入力、2 出力	
コントロール	RS-485, ボーレート:2400 ~ 38400 bps(デフォルト:9600bps)	
ID(カメラアドレス)	1~3999	

その他		
動作湿度		0 ~ 90%RH(結露なきこと)
動作温度		-30°C ~ 55°C
起動温度		0°C ~ 50°C
電源	カメラ	DC12V, AC24V
	ヒーター&ファン	AC24V
消費電力	カメラ	1.0A (12.0W) @ DC12V, AC24V
	ヒーター&ファン	2.2A(50W)@AC24V
寸法		寸法図を参照してください。
重量		約 3.3kg

仕様等が予告無しに変更される場合があります

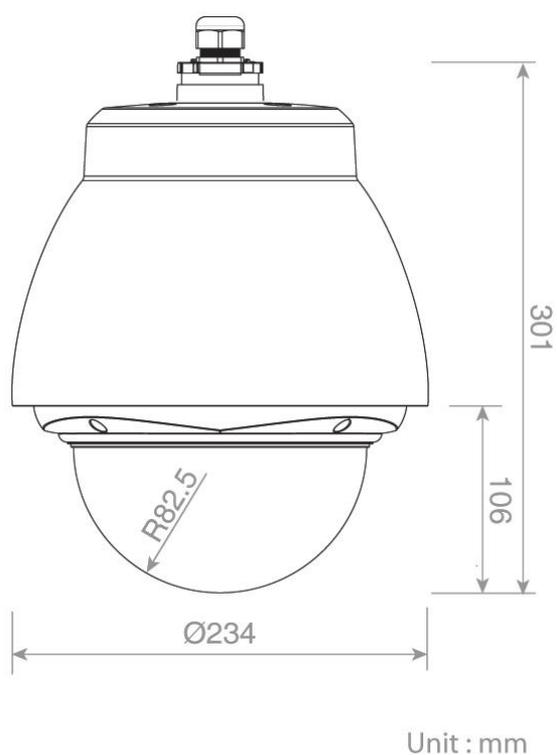


図 - 寸法

付録 B トラブルシューティング

問題が発生した場合は、本書の説明及び他の作動機器と合わせて、カメラの 設置・接続状況を確認してください。システム内の特定機器ごとに問題を切り分けます。さらなる情報については、機器それぞれのマニュアルを参照してください。

問題	解決策
映像が出ない	システム内のすべての機器に電源が接続されていることを確認してください。 電源スイッチが ON の位置にあることを確認してください。 ビデオの接続を確認してください。
ビデオの品質が悪い	BNC コネクタが正しく挿入されていることを確認してください。 ドームカメラの電圧レベルを確認してください。 ビデオ用のケーブルがシールドされていることを確認してください。
ドームカメラが本来の位置にない	ドーム設定メニューでカメラをリセットしてください。 ドームカメラがベースに正しく挿入されていることを確認してください。 ドームカメラの電圧レベルを確認してください。
カメラの番号とマルチプレクサの番号が一致しない	カメラの ID をチェックして、マルチプレクサの適切な入力端子に BNC ケーブルを挿入してください。



IDIS Co., Ltd.

For more information, please visit
www.idisglobal.com

50304250A